

數家自至自牛年秋

懶睡尊者學巨然倪元澤
趣已未夏六月 吳昌碩

上海

2007年12月11日(火)～2008年1月27日(日)

※会期中、陳列替えいたします。前期 12月11日(火)～24日(月)、中期 12月26日(水)～1月14日(月)、後期 1月16日(水)～27日(日)
〔ただし、国立故宫博物院の所蔵品は、12月11日(火)～1月6日(日)、1月8日(火)～1月27日(日)〕

休館日 12月17日(月)・25日(火)・29日(土)・1月3日(木)・7日(月)・15日(火)・21日(月) 開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
入館料 一般300円(240円) 小中学生100円(80円) ※(一)内は10名以上の団体料金。60歳以上の方および障害者の方は無料。毎週土曜日は小中学生無料。
主催 渋谷区立松濤美術館・読売新聞東京本社・美術館連絡協議会 協賛 ライオン・清水建設・大日本印刷 協力 日本アジア航空 後援 台北駐日経済文化代表処・財団法人交流協会

近代の美術

永健錦
癸巳夏六月 繪松濤山人筆 吳昌碩

講演会 12月15日(土)午後2時より

「吳昌碩を訪れた日本人たち」松村茂樹氏(大妻女子大学教授)

The Shoto Museum of Art

渋谷区立松濤美術館

〒150-0004 東京都渋谷区松濤2-14-14 電話 03-3465-9421
JR 山手線「渋谷駅」下車徒歩15分 / 京王井の頭線「神泉駅」下車徒歩5分
<http://www.city.shibuya.tokyo.jp/>





①



②

1840年に勃発したアヘン戦争、二千年余りにわたった帝政は崩壊に向かい、海外列強の侵略が厳しさを増すなか、1912年、中華民国が成立しました。この、清朝末期から民国初期にかけての歴史的転換点にあって、中華民族の伝統文化の再構築を求めた人々は近代美術の創造へと動き出しました。

特に、鴉片戦争後に開港場となった上海は、海外との交易による高度の商品経済の発達と、西方文明の流入により、空前の活況を呈しました。清末の動乱もあり、多くの芸術家が上海に集まり、それぞれが個性ある独自の作風を展開し、中国美術界の一大中心地となり、まさに百家斉放の時代を迎えました。また、日本との文化交流も盛んに行われ、多くの文化人が相互に往来し、中国からは多くの留学生が来日、新しい美術を中国にもたらしてもいます。上海は、近代中国の先端であり、縮図ともいえます。本展では、台湾の国立故宮博物院、鴻禧美術館、石允文コレクション及び国内のコレクションから集めた19世紀後半から20世紀前半にかけて上海に花開いた美術—書・絵画・篆刻の優品200点を陳列し、中国近代美術の輝かしい成果を紹介いたします。

■講演会

12月15日(土) 午後2時～
「呉昌碩を訪れた日本人たち」
松村 茂樹氏 (大妻女子大学教授)

■美術映画会

12月16日(日) 午後2時～
「故宮博物院の名蹟 書画編」
1月13日(日) 午後2時～
「故宮書法の美」

■美術相談

1月20日(日) 午後2時～4時 舟橋 淳司氏 (水彩)
1月27日(日) 午後2時～4時 遠藤 原三氏 (油彩)

■ギャラリートーク

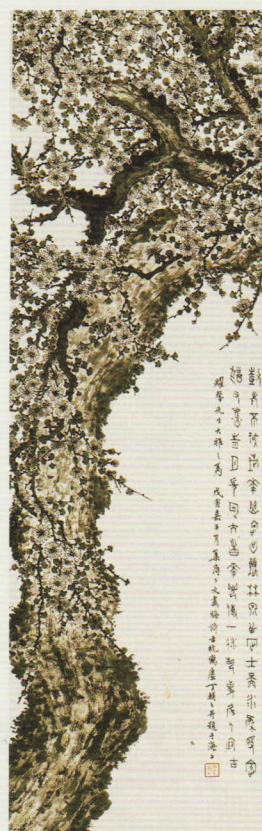
12月19日(水) 午後2時～ 担当学芸員
1月14日(月) 午後2時～ 担当学芸員
1月19日(土) 午後2時～ 担当学芸員

■次回展予告

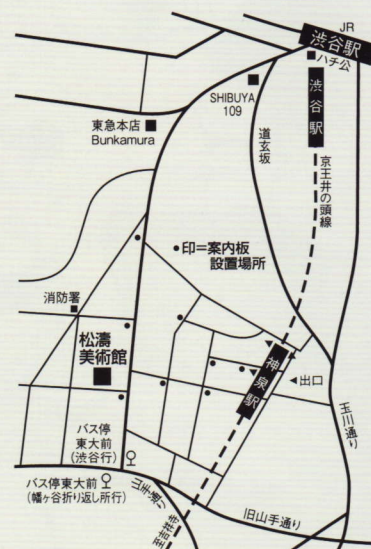
2008松濤美術館公募展



③



④



○ JRほか「渋谷駅」下車 徒歩15分
○ 京王井の頭線「神泉駅」下車 徒歩5分

渋谷区立松濤美術館
The Shoto Museum of Art

〒150-0046 東京都渋谷区松濤2-14-14

電話: 03-3465-9421

<http://www.city.shibuya.tokyo.jp/>

表面作品キャプション (すべて部分)

左/沙馥「瓜瓞綿綿圖」石允文コレクション

右/呉昌碩「山水圖」台湾・国立故宮博物院 (林宗毅氏寄贈)

下/胡公寿「嘉祥靈葩圖」鴻禧美術館

① 呉昌碩「臨石鼓文」東京国立博物館 (青山杉雨氏寄贈)

② 虚谷「金魚圖」東京・個人

③ 任伯年「和合双仙圖」台湾・国立故宮博物院 (林宗毅氏寄贈)

④ 丁仁「墨梅圖」和泉市久保惣記念美術館 (林宗毅氏寄贈)